

2024 年度 事業報告

I. 大牟田有明海地域の貿易の動向について

三池港の取扱貨物量は、2024年(暦年)で約198万トン(速報値)となり、前年比約19万トンの減少となった。主な要因として、中東地域の情勢悪化による世界的なコンテナ不足によって、国際コンテナ海上運賃の上昇、コンテナの無料保管期間(フリータイム)短縮などの影響で輸入が減少したことが考えられる。なお、国際コンテナ取扱貨物量は、2024 年実績で6,295TEU、前年比約6%減となり、輸出入ともに前年を下回った。

当会は、三池港の取扱貨物量の増加を目指し、新規航路誘致を重点課題とし、「マイポートみいけ利用促進協議会」と連携して、国際フィーダー船社へのトップセールスを行うとともに、2023 年度から創設した新規航路の開設を行った運航船社に対する助成制度やフォワーダー(貨物利用運送事業者)への助成制度を周知し、三池港の利用促進を図る取組みを行った。

II. 事業状況

1. 貿易振興

(1)企業訪問活動(ポートセールス)

マイポートみいけ利用促進協議会と連携して三池港背後圏地域の荷主企業や関係団体等への訪問活動を行った。また、東京・大阪地区の荷主企業や船社とともに、フォワーダーや商社への訪問に加え、三池港の利便性向上のため、国際フィーダー航路の誘致活動のための船社訪問等を実施した。

国際フィーダー航路

海運において「フィーダー航路」とは、基幹航路に対して支線の役割を担う航路。基幹航路の寄港する主要港とその他の港を結び、外貿コンテナの2次輸送を担っている。

このうち、国内の主要港で基幹航路に接続するフィーダー航路を「内航フィーダー航路」と呼んでいる。さらに、「内航フィーダー航路」のうち、国際コンテナ戦略港湾(阪神港・京浜港)と国内各港を結ぶ内航フィーダー航路を「国際フィーダー航路」と呼ぶ。

○訪問件数:延べ 264 件/159 社・団体

○三池港国際コンテナ航路利用荷主数:73 社/うち新規荷主 17 社

<関東地区>

①訪問日:2024 年 7 月 31 日(水)~8 月 1 日(木)

訪問先:荷主企業 2 社、船社1社

②訪問日:2025 年 1 月 22 日(水)~24 日(金)

訪問先:荷主企業 6 社、船社2社

③訪問日:2025 年 3 月 10 日(月)~12 日(水)

訪問先:荷主企業 8 社

<関西地区>

①訪問日:2024 年 4 月 24 日(水)~26 日(金)

訪問先:荷主企業 7 社、船社 1 社

②訪問日:2024年6月28日(金)

訪問先:船社2社

③訪問日:2024年10月1日(火)~2日(水)

訪問先:荷主企業1社、船社2社、港湾運営会社1社

④訪問日:2024年12月4日(水)~5日(木)

訪問先:船社2社

⑤訪問日:2025年2月17日(月)~18日(火)

訪問先:船社2社、港湾運営会社1社

⑥訪問日:2025年3月13日(木)~14日(金)

訪問先:船社2社、港湾運営会社1社

●訪問企業数:19社(荷主企業11社、物流会社5社、商社3社)

●訪問先船社:3社(株)シノコー成本日本総代理店、OOCL日本支社、井本商運(株)

●港湾運営会社:1社 阪神国際港湾(株)

(2)貿易情報等の配信

マイポートみいけ利用促進協議会が実施する補助金等の情報などの情報発信を行った。

(3)貿易相談

三池港の集荷拡大及び貿易に関する照会や問い合わせに対しては、関係機関と調整し対応に努めた。

2. 貿易基盤整備の促進

(1)三池港に関連する港湾施設等の整備促進

利用荷主の意見を集約し、他港の整備状況を確認しながら福岡県へ整備促進を要望した。

(2)コンテナ船社サービスの向上

マイポートみいけ利用促進協議会と連携して、船社に対し、2024年7月から改定された急激な海上運賃の上昇及びフリータイムの大幅短縮について、他港と競争できる海上運賃の適正価格の見直し、フリータイムの延長等の要望書を提出した。

○(株)シノコー成本日本総代理店 訪問日:2024年7月31日(水)

(3)新規航路誘致のトップセールス

マイポートみいけ利用促進協議会と連携し、当会から会長(大牟田市長)、副会長(大牟田商工会議所会頭)ほか、船社を訪問し、新規航路誘致に向け要請を行った。

○OOCL日本支社、井本商運(株) 訪問日:2025年1月22日(水)

(4)入出港基準の規制緩和

大型コンテナ船の定期就航化に不可欠な夜間出港などの規制緩和に向け、マイポートみいけ利用促進協議会と連携し、「三池港コンテナ船夜間出港に伴う航行安全対策調

査検討部会」の関係者調整に協力した。

3. 調査

(1)三池港の港湾取扱い貨物に関する調査と分析

(2)三池港背後圏の貨物動向を調査

(3)九州貿易協会連絡協議会へ出席

九州貿易協会連絡協議会に参加し、情報交換を行った。

○期日:2025 年 1 月 23 日(木)

場所:markMEIZAN ユーティリティスタジオ C(鹿児島市)

(4)日本関税協会

日本関税協会主催のセミナーに参加した。

○日本関税協会長崎支部「MOU 密輸防止連絡会」

期日:2025 年 3 月 24 日(月)

場所:三池税関支署

(5)ポートセミナーへ出席

新規航路の開設に向け、国際フィーダー航路の集積港における港湾運営会社が開催したセミナー「阪神港セミナーin 熊本」に参加し、情報収集等を行った。

○期日:2024年7月25日(木)

場所:ホテル日航熊本(熊本市)

4. 会議関係その他

(1)会議関係(常任理事会・総会)

常任理事会及び総会を、菓舗だいふく本店において開催した。

○常任理事会:2024 年7月10日(水) 午後2時00分

○総会 :2024 年7月10日(水) 午後2時 40分

(2)情報発信

企業訪問時に三池港のPRを行うとともに、会員に対して日本貿易振興機構(ジェトロ)等が開催する各種セミナーなどの情報を配信した。

(3)三池港周辺清掃活動への参加

○主催 NPO法人三池港未来のまちづくり会、三池港有明地区振興会、
信号電材(株)

○期日 2024年5月24日(金)、11月8日(金)

2024 年度 収支決算報告

(1)一般会計収支決算報告

○収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)市負担金	200,000	200,000	0	
(2)雑収入	20	80	60	預金利息
(3)繰越金	73,980	73,980	0	
(4)繰入金	76,000	76,000	0	特別会計より
計	350,000	350,060	60	

○支 出

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)貿易振興対策費	290,000	149,227	▲140,773	
1 貿易促進費	290,000	149,227	▲140,773	
2 負担金	0	0	0	
(2)会議費	60,000	36,340	▲23,660	
計	350,000	185,567	▲164,433	

2024 年度	総収入額	350,060 円
2024 年度	総支出額	185,567 円
差引残高	(次年度への繰越金)	164,493 円

(2)特別会計収支決算報告

○収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)繰入金	0	0	0	
(2)繰越金	331,214	331,214	0	
(3)雑収入	786	168	▲618	預金利息
計	332,000	331,382	▲618	

○支 出

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)繰出金	76,000	76,000	0	一般会計へ
計	76,000	76,000	0	

2024 年度	総収入額	331,382 円
2024 年度	総支出額	76,000 円
差引残高	(次年度への繰越金)	255,382 円